



学校のこれから通信 (石尾台中学校区) No.4

(発行) 令和8年7月27日(月)
春日井市教育委員会事務局 学校教育課
新たな学校づくり推進室
TEL : 0568-85-6149
Mail : n-gakko@city.kasugai.lg.jp

市では子どもたちにとってより良い教育環境を実現していくため、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台の5つの中学校区にある学校について、学校の統合に向けた検討を進めています。

今号では6月14日(日)に高森台中学校区と合同で開催した意見交換会の内容などについて紹介します。



前号はこちら

石尾台中学校区と高森台中学校区合同の意見交換会(6月14日開催)について

高蔵寺ニュータウン地区における学校統合に向けた市の考え方をお示するとともに、石尾台中学校区と高森台中学校区の方にそれぞれの考えや思いを互いに知っていただくため、両中学校区合同の意見交換会を開催しました。参加者数は35人でした。

会の前半では、市の考え方として、高蔵寺ニュータウン地区を「藤山台・岩成台中学校区」と「高森台・石尾台中学校区」の2つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討する案をお示しました。他にも、新しい学校が魅力ある学校となるように検討を進めることや、保護者や地域の方、学校関係者と連携しながら、丁寧に検討を進めることなどをお示し、その後、説明の内容について意見交換を行いました。参加者からは、学校統合の順序についての提案のほか、統合以外の手法を望むことなどの学校統合の考え方についてや高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについての意見がありました。

会の後半では、1グループ5人から7人で円になり、参加者どうしによる意見交換を行いました。意見交換は自由参加で行い、参加者数は23人(玉川小学校区5人、石尾台小学校区2人、押沢台小学校区5人、高森台小学校区2人、中央台小学校区5人、東高森台小学校区4人)でした。



意見交換会(6月14日)



参加者どうしによる意見交換の主な意見

【テーマ 学校統合について、期待すること・心配なこと】

- ・小規模校にはメリットもあるが、先生や友達がたくさんいる環境、子どもたちの社会性などを考えると、複数クラスがある学校規模に向けて取組を進めることが必要だと思う。
- ・1学級35人の基準が本当によいのか。教育に関することをたくさん議論して、小規模校の良さであるきめ細かな教育ができるように進めていくべきだと思う。
- ・通学が心配なので、小学校は今のままで中学校だけ統合するのはどうかと思う。
- ・通学バスの導入など市が責任をもって決定し、市民が安心できる説明をすればよい。
- ・統合する前に子どもたちからも意見を聞いてほしい。
- ・学校統合の話だけではなく、まちづくりもあわせて考えてほしい。
- ・市の財政などを考えると、今の学校数を今後維持していくことは厳しいと思う。
- ・統合によって通学範囲が広がると、そこに住む人たちが他の地域に流出してしまうのではないと思う。
- ・反対している方の中にも、1つの課題が解決したら賛成という方もいると思うので、具体的な提案を市からすべきである。

1 藤山台・岩成台中学校区

5月30日(土)に両中学校区合同で第4回意見交換会を開催しました。

会の前半では、高蔵寺ニュータウン地区を「藤山台・岩成台中学校区」と「高森台・石尾台中学校区」の2つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討するなどの市の考え方を説明し、その後、意見交換を行いました。参加者からは、児童生徒数推計の算出根拠の確認や懇談会など今後のスケジュールについての質問がありました。

会の後半では、1グループ5人から6人で円になり、参加者どうしによる意見交換を行いました。



意見交換会(5月30日)

参加者どうしによる意見交換の主な意見

【テーマ1 統合した新しい学校に期待すること】

- ・小中一貫教育や子どもの個性を伸ばすことができる特色あるカリキュラムを取り入れた魅力ある学校をつくってほしい。
- ・新しい校舎、きれいな施設を整備してほしい。トイレなどがきれいな方がよい。
- ・高蔵寺ニュータウンの活性化につながるような魅力ある学校づくりが重要だと思う。
- ・統合して空いた学校に、不登校の子どもが通える学校をつくるとよい。不登校以外にも障がいのある子どもなど、いろいろな子どもに対応できる学校がよいと思う。



【テーマ2 統合する場合に心配なこと】

- ・通学範囲が広くなり安全面が心配である。小学1年生には通学バスを必ず導入してほしい。バスを導入する場合は、利用者の負担がないようにしてほしい。
- ・小規模校は子どもたち一人ひとりの状況を把握できるなどの良いところがあるため、小規模校も残してほしい。また、小規模校のメリットを適正規模の学校にも取り入れてほしい。
- ・統合後の子どもたちの人間関係が心配なため、互いの学校の交流を深める取組をしてほしい。また、各学校の保護者のつながりも円滑に進むようにしてほしい。



2 坂下中学校区

坂下中学校区の保護者や地域の代表の方、学校関係者などで構成する「坂下中学校区の学校づくりを考える懇談会」で具体的な検討を進めています。第1回懇談会は6月19日(金)に、第2回懇談会は7月15日(水)に開催し、統合後の学校の設置場所などについて議論していただきました。

第3回懇談会は8月24日(月)に開催します。



第1回懇談会

学校の適正規模や適正配置に関する市の基本的な考え方や、これまでに実施したアンケート結果及び意見交換会の会議録を市ホームページ(右に記載のQRコード)に掲載しています。



※ 令和8年4月の市の組織改正により、学校の適正規模・適正配置に関する事務を担当する「新たな学校づくり推進室」を学校教育課内に設置しました。これに伴い、新しいメールアドレスとなっています。